

【トラック4】

ママも加わり4Pセックス。ママフェラからの騎乗位で双子は両耳囁き両耳耳舐め責め

(りお声の向き：正面 距離：普通)

ママ

「りおー？ゆきー？入るわよお」

ドア開く SE

りおゆき

「…わあっ、やばっ」

ママ

「(裸の3人を見てママビックリ)

…！！！…3人とも、これはどういうことなの？」

ゆき

「…ママあ…はあはあ」

りお

「やっぱー、ママにばれちった…」

ママ

「…先生？これはどういうことですか？

いえ、言わなくても分かります…。

きっとうちの子達がちょっかい出してきたんですよね。

躊躇がなっていなくて、本当にごめんなさいね…。

でも先生？流石にこれは許されませんよ…？

先生ってば、JKに誘惑されて無責任に中出ししちゃうロリコンど変態なんですか…？！

JK×人妻×バイノーラル～俺の可愛い教え子(とその母親)がこんなにエロいなんて…～

違う…？

ふふ…そうですよね…違いますよね。

分かっていますよ、

先生はJKにからかわれて発情する変態ロリコンなんかじゃないですもんね…。

それでは証明してくれませんか…？

先生がロリコンじゃないってことを…。

ふふ、私の言わんとしてることが分かりますか…？

そう、大人の私とセックスできたら、ロリコンじゃありませんよね？

もう、さっきからオスの匂いが部屋に充満してたまりませんわ。

この匂いを嗅ぐとウズウズしてきちゃう…！

どうしてくれるんですの？

私、夫からもずっとしてもらえてなくて…たまっているんです。

え？できないなんて…

そんなことないですよね？

さもなくば、変態ロリコンとして先生を訴えますよ？いいんですか…？

先生、まだお若いんでしょう…？

こんなことで先生の人生台無しにしたくないでしょう？

先生が変態ロリコンじゃないってこと、身体で証明してください。

大丈夫です。怖くないですよ～。

先生、頑張りすぎて疲れちゃったんですね。

ママが優しく大人のセックスを教えてあげます。

先生、ペニス、失礼しますね。

私が本当のフェラチオを教えてあげます。

…ああああ～んん…ん…

(フェラチオ開始りおのフェラチオよりも激しめ。いきなり激しい)

ン…ちゅちゅ……ちゅうううう。

じゅうう…じゅるじゅる…

じゅるるるるる…つ

(咥えながら) どうれすか…? おこちゃまのフェラとは全然違うれしょ?
あら…いきなり激しすぎたかしら。
最初はあ、亀頭からゅっくり責めてあげるぅ…
ちゅちゅ…ちゅちゅる…ちゅぱちゅば…」

ゆき

「(囁き) 残念です…ママに見つかってしましたね…。
ママのテクニックは本当にすごいんですよ。」セリフ抜け…

ママ

「次はあ…タマタマを口に含んで…ああうむう…
れえろれえろ…
レロレロレロレロ…
レロレロ…
んふう…
れえろれえろ…
レロレロレロレロ…
レロレロ…ちゅうううううつ
ん…つ
ちゅぽんつ」

りお

「(囁き) ママのフェラチオには勝てないんだよね~。
実は前のカテキヨも、その前のカテキヨも、ママにとられちゃってさ…」

ママ

「次はあ、竿を下から上に舐めあげてえ…
れええええええええろおおお…
れええええええええろおおお…
れええええええええろおおお…
んん…つちゅちゅ…
れええええええええろおおお…
れええええええええろおおお…
れえええええええええろおおお…」

ゆき

「ママにかかればどんな男の人も骨抜きになっちゃうんです。
ママの舌が先生のおちんちんをねっとり密着して離さないでしょう…?
ねっとり…ねっとり…ねっとり、
ほら、お口の中ねっちょねちょ…。ねっちょねちょ…
頬の肉が先生のおちんちんをとらえて離さない…。
先生、頑張って耐えてください。」

ママ

「ふふ…つ、今にも暴発（ぼうはつ）しそう♪
好きなときに好きなだけ出してくださいね。
…私の舌でえ…先生のペニスを…すっぽり加えてえ…
ああうむう…じゅる…
ちゅぽつ、んはあ♡
じゅるるる…ちゅぽ…んつ
じゅるるる…ちゅぽ
…ううん…ちゅちゅ…ちゅちゅる…つ
ちゅるちゅるちゅちゅちゅる…つ
んはツ…
じゅるるる…ちゅぽ
じゅるるる…ちゅぽ
…ううん…
(徐々に激しくなっていく)
じゅるるるるるつ、
ちゅううううううううつんつ
じゅるるるるるつんんツ
ちゅうううううううつ
じゅるるるるるつ、んツ
ちゅうううううううつ
じゅるるるるるつ
ちゅうううううううつ
じゅるるるるるるうつ
ちゅうううううううつ
じゅるるるるるるうつ
はあはあはあはあ」

(りお声の向き：左 距離：ゼロ距離)

りお

「舌のあったかさと、唾液のヌルヌルがおちんぽ包み込んであったかいでしょ？
熱くて熱くて…お口の中気持ちいいよね？今にも爆発しそうだよね？
こうなつたら先生、もう真面目なんてやめてバカになっちゃえ♪
バカになった方が人生楽しいよ～～？
ほらほら～何にも考えず～馬鹿になろ？
バカになれっ♪バカになれ♡バカになれ～♪ばかばかばあ～か♪
バカになれ…馬鹿になれ♪
バカになれ…馬鹿になれ…
ばかばか…ばあ～か♡」

ゆき

「バカになれ…馬鹿になれ♪
バカになれ…馬鹿になれ…
ばかばか…ばあ～か♡
ふふ、先生のお耳熱くなっていますよ…？
はああ…先生、出そうなんですか？出そうなんですね？」

りお

「(囁き) ママのねっとりした舌やばいもんねえ♡出しちゃえ♡
人妻お口まんこにいーぱい出しちゃえ」

ママ

「(クライマックス。最も激しく)
んはあ…じゅぼじゅぼじゅぼつ
じゅっぽつ、じゅっぽつ、
じゅるるるるるるうつ
ちゅうううううつ
じゅぼじゅぼじゅぼつ
じゅっぽつ、じゅっぽつ、
じゅるるるるるるうつ
ちゅううううううつ」

JK×人妻×バイノーラル～俺の可愛い教え子(とその母親)がこんなにエロいなんて…～

ゆき

「出して」

りお

「出して♪」

ゆき

「出して出して出して♡」

りお

「(囁き) 出しちゃえ出しちゃえ出しちゃえ♡」

ゆきりお

「(囁き) セーのっ…ぴゅつ、ぴゅつ、ぴゅーう、
ぴゅつ、ぴゅー…つ……ぴゅー———う…つ
ぴゅるるるるつ、ぴゅー———う♪」

ママ

「ん……うう～～！（射精）

ん… (ごっくん。)

ふはあ、はあはあはあはあ！

りお

「先生、すごい♪いっぱい出せたね！」

ゆき

「先生、よくできました。えらいですよ♪」

マヌ

「はあはあはあ…ふふ、すごい勢いで溢れちゃってる♡
さすが先生…私が見込んだ通り…
このしっかりした肉体…
体から溢れるフェロモン…
先生は大人のセックスの素質があると思っていたの。

JK×人妻×バイノーラル～俺の可愛い教え子(とその母親)がこんなにエロいなんて…～

子供たちの未熟なセックスじゃ物足りないでしょう？
ママが大人のセックス、教えてあげますわ♡

先生の上…失礼しますね。

…んしょっと…。(騎乗位)

はあはあ…先生の若くてたくましいおちんちん、おまんこに当たってるぅ…

はあはあはあ…

ぐっちゅぐっちゅ…

ぐっちゅぐっちゅ…

ふふ、おまんこいっぱい濡れてるでしょう？

こうしてこするたび…ん…くちゅくちゅ音を立てている…

私のお汁と先生の精子が交じり合って…

エッチな音が響く…♪

ほら、もう入っちゃうわよ♡

(挿入) んん…んんんんんんつ♡んつ！

あ…入つたあ…あつ。はあ…ん♡はあはあ…

先生の精子のヌルヌルと、

大人まんこのぬるぬるですぐ入っちゃいましたね。

はあん…どうですかあ？

子供たちの方がおまんこの締まりは良かったでしょうけど…

大人まんこはペニスに合わせて形を変えられるの。

適度な圧力でペニスを包み込んで、気持ちいいでしょう？

大人まんこがペニスにねっとり絡みついで、暖かくて…

ふうん…♡挿入してるだけで昇天しそう…ね♡

ではあ…動かしますね…つ

ふつ、んつ、んんつ、はつ、ふうつ、はつ、ああんつ、あつあつああんつ

あつ、いいですね、先生っ、やっぱり先生は最高のペニスの持ち主ですう、
先生のこと、ずーといいなと思ってみていたんですよ…気づいてましたか…？
はあはあ。ずっとずっと先生のこと見てたんですよおつ、

はあんつ、んつんつんつ、んつふつふつ、

はつ、ああんつ、

はつ、あつあつあつああつあつ、ああつああんツ

はあはあはあはあ…はあはあはあはあ…

はああああ、はああああ、

んん…つ

あつ、あつあつ、あつ、あつ、あツ

んつんつんつ、んつふつふつ、

はつ、ああんつ、

はつ、あつあつあつああつあつ、ああつああんツ

はあはあはあはあ…はあはあはあはあ…

おおん♪おっおっほおおおんつ、

んんつ、んはつ、はつあつ、あつ、あつ、んつんつ、んつ、

おっおっおっおっおっおつ

はつあつ、あつ、あつ、んつんつ、んつ、

はあん、あん、あんつ、あんんつ

ひやああんつ

はあ…ああ…ああつ、先生、いいですよ、いいですっ、もうすごいっ、夫より良いっ、

これ良いっ、良いっ、ああ、良い！

あつあつあつああつあつ、ああつああんツ

」

(りお声の向き：左 距離：ゼロ距離)

りお

「やばあ…。ママのおっぱいでかいよねえ。
りお達のおっぱいとは比べものになんないや。
子供二人育てるんだもんね～
ママのおっぱい、腰を振るたびふるんふるんってすごい勢いで跳ねてるよ。
腰を上下するたび、たぶんたぶんって…
でかおっぱい、やばあ…。
ねね、ママのおっぱい触ってみ？
ほらほらあ、めーちゃ柔らかいでしょ？むにゅむにゅーって。
あ、ほらほら、乳首触るとめっちゃ感じてるよお。
あんあん言ってるー
ふふ、ママ、今軽くイッたんじゃん?
先生がイカせたんだよお、先生すごい！」

ゆき

「先生♡ママの身体の具合はどうですか？
JKの身体と人妻の身体、今日1日で味わい尽くしちゃいましたね♪
昨日まで童貞だったのに、もう経験人数3人になりましたよ。
おめでとうございます先生♡

いけないんですよお、JKとあーんなことしたり、人妻とこーんなことしてえ…
罰として、ずーとゆきたちの家庭教師して、エッチなお勉強続けてくださいね？
ふふ、ママと一緒に先生がイケるように、
ゆきが先生のお耳を舐めてお手伝いしてあげますね。
あああ…んん…（耳舐め2分）」

(りお声の向き：左 距離：ゼロ距離)

りお

「りおも、先生のこと応援してあげるね。
お耳、食べてあげる。
いただきます……。
ちゅちゅ…ちゅぱ… (耳舐め浅め1分 深い耳奥耳舐め1分)」

ママ喘ぎ

ママ

「あんんつあんんつこの感じっ、久しぶりっ
もうずっとたまってたのっ、こうしたかったのぉつ
ああんつ、あんんつ

先生、ママのおまんこで精子受け止めますからっ、
そのまま最後の一滴まで全部出してっ、
欲求不満な人妻まんこに孕ませてえええつ
イクからっ、イク…からあつ、
イク…はああ、イクイクイクイクイグ…はあうううううんんん…つつ (射精)
んんんんんつ……つつ！はあああ…つ
はあはあ…はあ…はあ…
すっごおおい…♪」

(りお声の向き：正面 距離：普通)

りお

「精子出ちゃったね♪
わー、ママのおまんこから白いのドロドロ溢れてんじゃん。
先生って初めてなのに凄くない？
セックスの才能めっちゃあるんじゃない？」

ママ

「もう…実の娘にそんなにまじまじと見られたら恥ずかしいわ」

ゆき

「わ…すごいです。ママのおまんこじゃ受け止めきれないぐらいの量…！
ああん…もったいないので…あふれ出た精子…ゆき頂いちゃいますね…
あん…・・・くちゅくちゅ…ちゅぱちゅぱ…ちゅるるるる」

ママ

「もう、何するの…ああん…くすぐったいわあ…ああつ
ああん…はああああ…はあはあ…あん…ん…はあはあはあ…」

りお

「りおも、舐めとる…ちゅるるる…ちゅう…
んん…ママの毛が口に入っちゃう…ちゅぱちゅぱ…ちゅる…じゅる
ちゅるるる…ん…ちゅぱ」

ゆき

「ふふ、先生のおちんちんの匂いもしますわ。
最後はゆきとりおで、先生のおちんちん綺麗にしてあげますね..
レエエエエ口…レエエエエ口…」

りおゆき

「れーろ…れえええろ…ちゅぱ…ちゅちゅ…ちゅう…
ン…ちゅ…ちゅぱ…ちゅるる…ちゅる…・・・れろれろれろ…」

ゆき

「んふふ、綺麗になりました♡」

りお

「せんせ、お疲れ様でした♪」

ゆき

「先生♡これからも私たち姉妹にお勉強教えに来てくださいね。
そしてたまにはこうやって…エッチなお勉強、私たちが教えてあげます。
これからもずっと、」

ママゆきりお

「楽しいお勉強しましょうね先生♡」